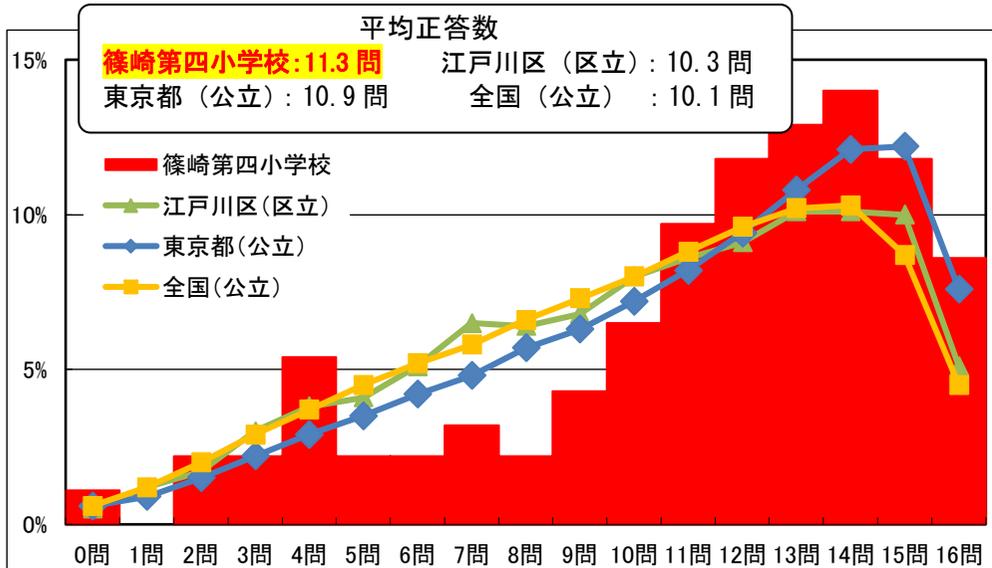


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 篠崎第四小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
篠崎第四小学校	34.4	24.7	22.7	18.5
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

篠崎第四小学校	70%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	+2ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- 各領域と評価の観点において、全国と東京都の平均正答率を上回った。
- 四分位における割合においても、A・B層の割合が多く、C・D層の割合が全国と東京都より少なくなっている。
- 領域の中で、「データの活用」の平均正答率が東京都より0.7ポイント下回った。

【授業改善に向けて】

- 問題解決する際に、言葉や数、式等を使ってわけや求め方を自分の考えで書く時間を設ける。
- 各自が考えた解決方法をペアやグループ、学級全体で検討する場を設ける。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果

